

十返舎一九

清水道中金比呂草鞋

十三



財団法人日本科学協会

|       |         |                 |
|-------|---------|-----------------|
| 会 長   | 清 水 一 郎 | (群馬県知事)         |
| 副 会 長 | 千吉良 覚   | (群馬県教育長)        |
| 同     | 相 葉 伸   | (群馬大学名誉教授)      |
| 運営委員長 | 柳 沢 本 次 | (群馬県議会議員)       |
| 編集委員長 | 萩 原 進   | (群馬県文化財保護審議会会長) |
| 事務局 長 | 水 穴 再 喜 | (群馬県立図書館長)      |

## 諸国道中金の草鞋 (13)

(みやま文庫113)

平成元年 3 月20日印刷  
平成元年 3 月30日発行

(会費年間3,000円)

編集者代表

萩 原 進

発行者代表

柳 沢 本 次

印 刷 者

朝日印刷工業株式会社

発 行 所

み や ま 文 庫

〒371 前橋市日吉町1丁目14-8  
群馬県立図書館内  
TEL 0272-32-4241

昭和63年度第4回配本

諸国道中金の草鞋

十三



方言修金草鞋序

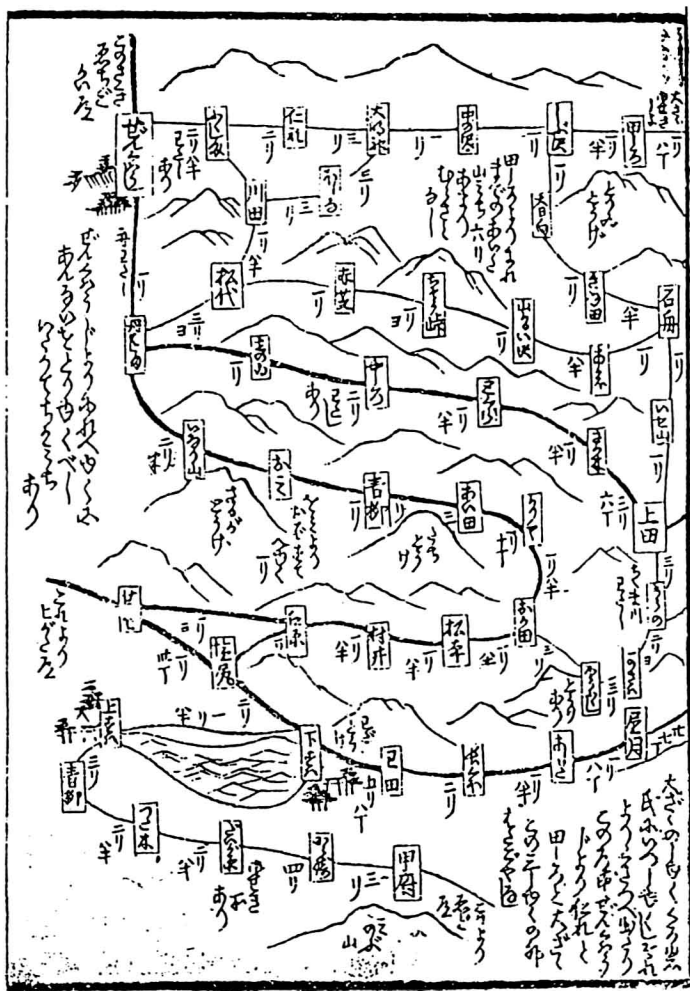
せんくもつるん 金草鞋と云ふ方よりまきゆくと申進ふよりて  
 まきゆくの金草鞋と云ふ方よりまきゆくと申進ふよりて  
 風雅でも如く晒落でも多く去来すより著せし身延結の道中  
 助と申十三編は甲府より信及諏訪へ出るとより本曾塩尻と  
 申松本街より善光寺道と著し一陽アガハの秋貸ふ草鞋温  
 泉高生寄へ歩るまでを編よとの中をより糸女細く衆知之助百も合度  
 と緒込し草鞋の事とてある作者去其及裁落と拾起し一房のま  
 かけ善光寺より仁礼街道大笹越とのつと善光寺に至り其代  
 の光氣まきゆの中仙道へ出るまでのとく著く記行より善光寺へ  
 歩るゆきと著く其後の生柿がけと著くその年の金草鞋と著く  
 よより春のなまきまきゆと著くふは履見てよりより著く著るなり

文政辰子四月

十返舎一九志(貞) 庵

しんせき









燕 窩



臺ヶ原

とらふは

三







入道の上

に梅子の皮を削

十、ていつくさう

蘇州府志

2

エでぶはる

三ノ宮

— ۱۰۰ —

[illegible][illegible]

ト、ういひとも。

三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

三ノ上ノ中ノ一ノ五ノ

凡此諸書

三ノ宮

はふふふふふふふ

うさぎもこの

*Handwritten signature*

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

—

蘇軾

2000

三




參



國語

— 2 —







